

## 訓練の積み重ねが最大の備えに 鷹山地区で町総合防災訓練を実施

町総合防災訓練が10月15日、旧鷹山小学校グラウンドで行われました。

訓練は、時間雨量80ミリの大雨による土砂災害の発生を想定した災害対策本部設置訓練から始まり、災害救助訓練や避難所開設訓練、実際に消火器を使つての初期消火訓練など18項目を実施。寒い中でしたが、鷹山地区の各自主防災会、消防団、萩野防火婦人クラブ、社会福祉協議会などから参加した一人ひとりが集中し

て訓練に取り組みました。

また、火災防ぎよ訓練は、8月に消防用水の供給支援に関する協定を締結した県南生コンクリート協同組合の協力を得て行われ、偵察訓練では消防防災ヘリコプターが鷹山地区上空でサイレンを吹鳴。その他、多くの関係機関から参加・協力を得て、より緊張感のある訓練となりました。



①初期消火訓練 ②濃煙体験 ③災害伝言ダイヤル体験 ④消防防災ヘリコプター偵察訓練

## 活力あふれるプレーで県大会優勝 白鷹エンゼルスが全国大会へ

第26回山形県健康福祉祭ソフトボール大会が10月1日、上山市の三友エンジニア体育文化センター（上山市体育文化センター）多目的運動広場で開催され、置賜リーグ4連覇中の白鷹エンゼルスが出場しました。

試合は7チームによるトーナメント戦方式で行われ、試合を順当に勝ち進んだ白鷹エンゼルスは、決勝

で滝山クラブ（山形市）と対戦。試合を7対1で制し

見事優勝を収め、来年11月に開催される第31回全国福祉祭とやま大会への出場権を獲得しました。チーム監督の竹田謙一さん（荒砥甲）は「全国大会まで時間が空くが、しっかりと練習を重ねていきたい。まずは1勝することが目標」と笑顔で話しました。



大会翌日、チームのメンバーが町長室で優勝報告を行った

## 実りの秋に感謝 山口農業収穫祭を開催

10月29日、山口公民館を会場に山口農業収穫祭が開催されました。

秋の収穫に感謝するとともに、地域住民の交流の機会として開催されて今年で9回目。直売所では山口地区で採れたリンゴやもち米、加工品の味噌や漬物、レンコン等のほか、白鷹陽光学園からはかぼちゃパイ

などが販売されました。また、同会場では羽黒の森を守る会主催による写真コンテストが行われ、地区内外から33展の力作が集まり山口の魅力アピール。さらに、フォークソングデュオ「ぜんざーず」（横田尻）の演奏や山口出身の「ママチャリ」さんの演奏が会場を盛り上げました。



会場ではそば打ちも行われ、来場者は秋の味覚を味わいながら交流した